

和歌山病院 ニュース

第28号

2010年11月発行



発行元

独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

【安心と信頼をいただける病院】

をめざします。

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>



御坊祭（和歌山県御坊市）にて H22.10撮影

目次

- ◆重症心身障害児（者）病棟の運動会を開催しました ----- 2
- ◆新任ドクター紹介 ----- 2
- ◆看看連携研修会を開催しました ----- 3
- ◆院内コンサートを開催しました ----- 3
- ◆数字で見る和歌山病院 ----- 3
- ◆外来診療担当表 ----- 4
- ◆病診連携医院のご紹介（第14回）----- 4

重症心身障害児(者)病棟の 運動会を開催しました

平成22年10月13日、爽やかな秋空の下、県立みはま支援学校と当院重症心身障害児(者)病棟共催の運動会が行われました。

開会式終了後の少し緊張気味の雰囲気の中、いよいよ競技の始まりです。最初の競技「仮装deショータイム」では、お医者様を始めに病院職員、校長先生がモデルとなり、患者様が運んだ衣装を身につけていくと、たちまちかわいい女の子に大変身。リボンを持ってダンスをする姿は「AKB48」さながらで、会場は拍手喝采と笑いに包まれました。

家族の方と職員の交流競技「ぴったんこ何トン？」では、出題された重さに対し、自らの体重や米袋、車椅子、太鼓、水の入ったバケツ等を組み合わせ、問題の重さに近づけようと、誰もが躍起になり、応援にも思わず力が入りました。そして・・・見事、ピタリ賞。会場は驚きと歓声で溢れかえりました。

最後を飾る競技「ありがとうをイルカに乗せて」では、カラーポリロールや風船で作られた大きなイルカのショーが披露されました。調教師の声に合わせて高くジャンプしたり、輪をくぐったり、ボールを突いたり、まるで本物さながらのイルカショーにあちらこちらで歓声が上がり、運動会は最高潮を迎えたまま、幕を閉じました。

患者様、家族の方、職員がともに楽しんでいる光景が見られ、たくさんの笑顔に出会えた運動会。みんなの心にすてきな思い出が、またひとつ増えました。



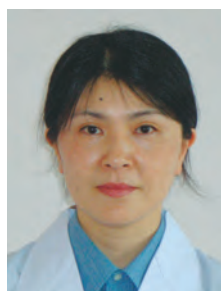
新任ドクター紹介

①専門分野 ②自分の〇 ③自分の× ④余暇の過ごし方 ⑤オススメ健康法 ⑥赴任にあたって



おお はら しげ き
大 原 茂 樹

- ①不整脈・循環器
- ②真面目
- ③がんである
- ④食べ歩き・旅行
- ⑤特になし
- ⑥はじめての土地で慣れないことも多いですが、少しずつがんばりたいと思います。



おお はら
大 原 せ っ

- ①循環器・動脈硬化・糖尿病
- ②はっきりしている・決断力がある
- ③短気である
- ④ショッピング・旅行
- ⑤特になし
- ⑥循環器疾患だけでなく、糖尿病なども含め総合的な医療を行っていきたいとおもいます。

第14回看看連携研修会

「終末期ケアの介護施設と病院の連携について」を開催しました。

看護師 シンプソン由美

去る7月20日、病院と地域の看護連携を図る看看連携研修会の第14回を開催いたしました。

今回、私は、シンポジストとして参加させていただきましたが、患者さま本人・ご家族が望む、最善の看取りを行なう為に、施設と病院が意見交換を行える良い機会となりました。終の棲家である施設に帰りたい、と願いながらも環境が整わず、転院や病院での最後となるケースがあるなか、シンポジストである河野氏の所属する施設では、最後の時を家族と共に過ごすことができる「看取り部屋」があるとのこと。今後もそのような環境が、どんどん広がってほしいと思いました。

研修会に参加した方々からは、「施設や病院の現状がわかった」「病院と施設の連携が大切」という意見や、その他今後の退院調整に参考となる意見をたくさんい

ただきました。施設での看取りには、身体状態の他、胃管・胃チューブなど、解決すべき点が多々ありますが、日ごろからの施設との連携が、退院調整にも生かされていくと感じました。



院内コンサートを開催しました



去る7月7日、当院機能訓練棟にて院内クラシック・コンサートを開催しました。このコンサートは日高町・古田医院さんのご協力のもと実現したもので、世界的に活躍する演奏家グループ「アンサンブル・ノマド」の皆さんをお招きして行われました。モーツァルトやシューマンなどのクラシックの名曲から日本の「浜辺の歌」、あるいはタンゴの巨匠・ピアソラまで、豊富なレパートリーがアンサンブル形式で披露されました。当日は入院患者様・ご家族様をはじめ当院スタッフ一同もその演奏に聴き入り、憩いとやすらぎのひとときを過ごしたミュージックセラピーのタベとなりました。

数字で見る和歌山病院【平成22年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
救急患者受入状況	98	104	120	110	116	111							659
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
地域医療支援病院紹介率	89.9%	87.3%	90.3%	92.4%	88.7%	85.9%							89.3%
地域医療支援病院逆紹介率	76.0%	68.4%	83.7%	66.7%	79.4%	99.3%							78.3%

・ 紹介率：初診患者のうち他の医療機関からの紹介患者の割合

・ 逆紹介率：初診患者を他の医療機関へ紹介した割合

「和歌山県保健医療計画《地域医療支援病院の承認要件》」より

当院は平成18年6月12日に県下で2番目に地域医療支援病院の承認を受けています。

支援病院の紹介率の承認基準は紹介率60%以上かつ逆紹介率30%以上となっておりますが、近隣医療機関との連携により高い率が維持できています。今後もよりいっそう医療連携を図り地域医療に貢献してまいります。

外来診療担当表

平成22年11月1日現在

		月	火	水	木	金	
外 科	2 診	栗 山	畑 田	太 田 (乳腺外来)	担当医	有 本	
循環器科	3 診	楠 山	石 井	担当医	楠 山	水 越	
	5 診	豊 田	山 野	—	山 野	豊 田	
	4・6 診	石 井	大原(せ)	—	川邊(哲)	大原(茂)	
神経内科	6 診	—	—	河本(第2・4週) 三輪(第1・3週)	—	河 本	
呼吸器センター	初 診	14 診	柳 本	川邊(和)	市 川	小 野	担当医
		15 診	—	川 端	—	赤 松	—
	予約診	16 診	駿 田	小 野	柳 本	川邊(和)	畠(※注)
	専門外来(午後)	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	禁煙外来 乾(※注)	睡眠外来 駿田(初診)	
		—	—	COPD外来 担当医	—	—	

※注 木曜日の乾Dr、金曜日の畠Drの外来につきましては第2・4週のみとなっております。

放射線科	—	—	—	—	担当医 (予約制)
------	---	---	---	---	--------------

※放射線治療医につきましては月ごとに変わるため、電話にてお尋ねください。

検 査 室	超音波室	—	—	—	心工コ—	心工コ—
	機能検査室	—	心機能検査	—	心機能検査	心機能検査
	内視鏡	気管支	気管支	—	気管支	気管支

- 一. 受付時間 8時30分から11時30分
- 二. 診療時間 8時30分から17時00分
急患については、この限りではありません。
- 三. 再診については原則、予約制にしております。

電話 (0738) 22-3256【代表】

※夜間・休日は (0738) 23-1506

<http://www.wakayama-hosp.jp/>

院長／楠山 良雄

副院長／駿田 直俊(和歌山県立医科大学臨床准教授)

診療部長(内科系)／豊田 康誠

診療部長(外科系)／有本 潤司

呼吸器センター長／柳本 立太

病診連携医院のご紹介(第14回)

～高辻内科胃腸科 高辻 幹雄 先生～

- 診療科目 内科・胃腸科
- 所在地 〒644-0002
和歌山県御坊市園489-5
- 電 話 0738 (24) 0102

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9:00～12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後 (15:00～18:00)	○	○	○	/	○	/	/



自己紹介(医院について)—胃カメラを中心に消化器と内科全般を診療しています。患者さんの話をよく聞くこと、検査や病状の説明など、患者さんがご納得いくまで丁寧にお話しすることを心がけています。

和歌山病院の印象は—主として循環器・呼吸器の専門家集団として、こちらがわからないことも色々教えていただけるので助かっています。



地域医療連携室より—日高地域の医療連携についても伺うと、「日高地域は国立和歌山・日高・北出・北裏の各病院が機能分担し、開業医との連携も非常にうまくいっていると感じます。」と高辻先生。当院としても今後ともそうした当地域の医療連携の要のひとつであり続けるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいきたいと考えています。